



話題の広場

地域交流活動で

塩谷町立玉生小学校
野尻 英治



本校は「はりきりいっぱい」「あいさついっぱい」「ともだちいっぱい」をスローガンとして「はあ」とふる運動」に取り組んでいます。さまざまな体験活動を通して、絆を深めコミュニケーション力を高め、自分を見つめたり、友達をお互いに認め合ったりし、心を高めていこうとするものです。

その一つとして、毎年六月に学校・PTA・地域が一つになって実施している地域交流活動「地域のひとふれあおう集会」があります。全校生が行政区別の縦割り班に分かれ、地域の方々と交流会をもちます。竹やいろいろな

材料を使って工夫をする行政区や料理をする行政区、ゲームやゲートボールなどの軽スポーツをする行政区、昔話を聞く行政区など多種多様な交流会です。それぞれ活動内容に違いはありますが、現実体験が少なく、屋内ゲームに夢中になっていく傾向のみにあつては、子どもたちにとって、体を動かすことや、人と人との関わりの中で喜びや思いやり等、多くのことを体験し学んでいます。

運営拠出金 委員会だより

運営拠出金
委員長 羽石 敏彦

県小学校長会は、各地区小学校長会で組織する連合機関であり、その主体的活動の充実強化を図るために運営拠出金を設定し、運営拠出金の保管と管理を図るために運営拠出金委員会が設けられています。

本会費は、新会員の皆

様に拠出していただいておりますが、県からの補助金カット、市町からの法令外負担金の減額に伴う本会計への補助もあり、基金造成が困難な状況にあります。

昨年度は、関ブ口栃木大会参加費補助、東日本大震災の見舞金と大きな支出があり、今後一層の基金造成を図るために、今年度より各地区への補助金が減額となりました。各地区の会員の皆様には、補助額が少なくはなりましたが有効に活用していただき、充実した研修が図られますようお願い申し上げます。

県小学校長会 事務局だより

事務局長 佐々木和美

平成二十三年度の関ブ口栃木大会では、会員の皆様の力を結集して、大きな成果を挙げ、成功裏に終了しました。ありがとうございました。

今年度も事務所で「内外教育」を定期購読しております。教育会館に来館の折には、是非事務局にお立ち寄りください。

また、懸案のHPの立ち上げについても今年度の課題です。広報部と連携して準備をしていきます。さて、事務局ですが、今年度長嶋憲介事務局長に代わり、佐々木和美が事務局長に就任いたしました。事務局長の高柳は継続して勤務しています。今まで同様皆様の活動を全力で支えていきますので、よろしくお願いいたします。

事務局の勤務時間は、九時～十六時まで（昼休み一時間）です。事務局が不在の際は留守電設定にしておきますので、用件をお話しください。



編集後記

桜咲く頃、岩手の学校に勤務する友人から手紙が届きました。「今年度もまた元気（にみえる）な子どもたちと頑張っています。震災を乗り越える大いなる夢を持ち続けながら。」日々ひたむきに教育を進めている姿に、「学ぶことが明日への希望を育むこと」と教えられ胸が熱くなりました。

平成二十四年度校長会も「変化への対応と組織の強化」に向けての活動が新役員さんを中心に始まりました。笑顔あふれる子どもたちが、安心して学び合うことの喜びを共有できる学校づくりに向け一層の努力が求められています。

お忙しい中本号へ玉稿をお寄せいただきました会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

毛野南小学校
福地 百合子